

弥富公民館

弥富地区の概要

弥富地区は、佐倉市のほぼ中央を流れる鹿島川の上流とその2本の支流に沿って田畑が作られ、その周囲に形成された集落群です。佐倉市の南西に位置し、千葉市・八街市・四街道市と接して655世帯、1,754人が住み、13.66km²の面積を持つ穏やかな田園地帯です。

地区の中心産業である農業は、時代の変化とともに、耕作面積、農業戸数・農業者人口とも減少を続けています。また、弥富地区全域は市街化調整区域であり、就業形態が変化しても、人口増加は望めない現状にあります。その意味では、過疎化に伴う日本の農村の問題が顕著に見られる地域である、とも言うことができます。

このようななかで、企業の研究所の設置や美術館の開館など新しい息吹を感じさせるようになってきました。さらに弥富地区と千葉市にまたがる地域にちばりサーチパークという研究施設等の大規模開発が行われ、新しい時代に向かった流れが徐々に広まりつつあります。

地区面積 13.66 km² 地区人口 1,754人 地区人口密度 128人/km²

管理・運営の部

1. 公民館運営計画

運営方針

佐倉市立公民館活動計画を基本として、歴史の足跡が現在に伝えられ、地区全域に伝承文化や地域独自の暮らしが残っている弥富地区の実情を考慮し、地区住民の自主的な交流・集会・学習などの活動の援助をするとともに、そのニーズに応えた主催事業を展開していく。

平成21年3月に施設が改築となり、弥富地区の拠点施設としての機能を地域で活動している団体と事業実施に於いて連携と協力を進め地域活動が充実されるよう努めていく。

そのため、社会福祉協議会・食生活改善推進員・青少年相談員・青少年育成住民会議等の実施する事業に対して協力をし、公民館で実施する主催事業では、その経験を生かして講師等をお願いし、相互の関係を深めるよう努めていく。

また、他地域の住民に弥富地区に対する理解を深めると共に新しくなった公民館をアピールし、利用の促進を図る事業の実施に努めていく。

弥富小学校・幼稚園と隣接している立地条件を活かし、児童・保護者・学校と連携を図り、そのニーズを取り入れた事業の実施と地域内外の幼児を対象とした「親子遊びのつどい」を通した幼稚園への入園者増加がなされるように努めていく。

施設管理や貸館業務の円滑な実施を推進し、公民館機能を更に充実させ、利用の増加が図れるよう努めていく。

努力目標

地域の実情に即した学級・講座の充実を図る。

地域住民が気軽に足を運び、利用できるような公民館となるように努める。

小学校・幼稚園の保護者との連携を密に保つ。

地域で活動している諸団体と協力体制を強化し、相互の活動が活発化するよう図る。

公民館施設が有効利用されるよう努める。

事業内容

1. 学級講座

楽しく、共に学び合う場を作り、みんながふれあい、みんなで考え、みんなで何ができるのか考える場にしたい。

2. 広報・団体育成事業

公民館事業のお知らせや、地域の学習、生活情報の提供をする中で、地域住民に公民館への関心を持ってもらうと共に、利用団体、関係団体との交流、育成を図る。

3. 施設の提供

開館時間 午前9時～午後5時（申込みがある場合は午後10時まで）

休館日 日曜日・国民の祝休日・年末年始

2 . 公民館利用状況

年度別利用状況

区 分	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度
利用件数 (件)	310	339	172	733	800
利用人数 (人)	3,926	4,969	1,982	10,431	11,298
開館日数 (日)	293	294	294	293	293

事業の部

領域	事業名	内容	対象・人数	期間・回数
家庭教育	親子遊びのつどい	幼児期の親子のコミュニケーションの大切さを遊び、協同作業、講義等を通して学習した。	2・3歳児と保護者 10組	6月～2月 12回
	家族で遊ぼう	家族での自然散策を通して、親子・自然とのふれあいの大切さを学んだ。	就学前児と家族 12人	11月 1回
	家庭教育講座 「子供の健康について考えよう」	子供の健全な発育について、保健・食生活の面から学習するとともに調理実習をした。	小・中学生の保護者 8人	12月 1回
青少年教育	弥富剣道教室	剣道を通して心身の健全育成を図るとともに千葉県無形文化財「立身流」の武術を学んだ。	小・中学生 11人	5月～3月 39回
	星空観察会	星空を観察することで地区の豊かな自然と科学への興味を育んだ。	弥富小学校児童 地域住民 延べ42人	8.11月 2回
	なんでも体験弥富塾 (佐倉っ子塾)	弥富地区の豊かな自然や歴史・風習について地域の方を招き、様々な体験や実習・講義を通して学習した。	弥富小学校児童 延べ233人	5月～2月 10回
成人教育	ふるさと弥富散策会	鹿島川流域の散策をし、弥富地区の豊かな自然等について理解を深めた。	成人 延べ16人	4.11月 2回
	グラウンドゴルフ	児童から高齢者まで幅広い年齢層が一緒にプレーを楽しみながら交流を深めた。	弥富小学校児童 地域住民 54人	7月 1回
	竹炭作り体験	地域にある窯を利用して竹炭づくりの体験を行った。	成人 16人	12月 1回
	くらしの講座 ・バス研修 ・カステラづくり ・太巻き祭り寿司 ・そば打ち体験 ・布ぞうりづくり	地区外のさまざまな文化に触れることにより自分たちの生活を見直し、豊かにするためのきっかけづくりとした。	成人 延べ86人	6月～2月 6回
	佐倉・城下町 400 年 記念事業「南部地区 の旧街道を歩く」	江戸時代の旧街道を散策し、当時の史跡を訪れることにより地域に関する理解と愛着を深めた。	成人 17人	11月 1回
	史跡散策 (佐倉学講座)	弥富地区の史跡を散策することで郷土への関心を高めるとともに、弥富地区を他地区の住民に紹介した。	成人 11人	12月 1回

広報	弥富公民館だより	公民館の事業案内や紹介、地域の学習・生活情報の提供等を行った。	弥富地区全世帯 各600部	年3回
団体 育成	弥富民俗資料展示室	展示室の見学に対し、文化課と連絡をとって説明・案内の実施に協力した。	市民	通年
	弥富地区青少年育成 住民会議	青少年健全育成住民会議の開催する地区 グラウンドゴルフ大会の開催に協力した。	弥富地区の住民 54人	11月 1回

1. 家庭教育事業

親子遊びのつどい

開設趣旨 子どもたちが、友だちとの遊びやものを作ることを通して、遊ぶことの楽しさ、重要性を学習するとともに、保護者も一緒に行動することで、子育てについて考え、学習することのできる場とする。

対象・人数 市内在住の2・3歳児とその保護者 10組

期間・回数 平成22年6月8日～平成23年2月8日 12回 午前10時～11時30分

学習目的 1. 幼児を、個性を持つ独立した人間として捉える。
2. 講座の遊びを、個人でも展開できる。
3. 講師と保護者、保護者と保護者の結びつきを強める。

指導者 蓮 淳子氏

プログラム

回	月日(曜日)	学 習 テ ー マ	学 習 内 容	参加者数
1	6月 8日(火)	開講式・みんな仲良し	手遊び、ゲーム遊びをしてみんなでふれあいます。	16人
2	6月22日(火)	布で遊ぼう	布の素材を生かして色々な遊びを考えます。	14人
3	7月27日(火)	作って遊ぼう	身近にある材料を工夫して、おもちゃをつくります。	16人
4	8月24日(火)	夏の遊びでお楽しみ会	水遊び(魚つりなど)をします。	12人
5	9月 7日(火)	リズムで遊ぼう	いろいろなリズムになれて、親子で楽しく体を動かします。	12人
6	10月 5日(火)	絵をかこう	ビニール袋に大きく描きます。	12人
7	10月26日(火)	みんなでヨーイドン!	みんなのアイデアで楽しく体を動かします。	12人
8	11月16日(火)	散歩しよう	落ち葉を集めて、ファッションショーをします。	14人
9	12月 7日(火)	造形遊び	クリスマスの飾りを作り、お楽しみ会の準備をします。	14人
10	12月14日(火)	クリスマスお楽しみ会	みんなで協力して楽しい会にしましょう。	16人
11	1月18日(火)	わらべうたで遊ぼう	言葉のかけ合いを楽しんだり、伝承玩具にも挑戦します。	13人
12	2月 8日(火)	お話と遊ぼう・閉講式	遊びのまとめ。 発表会をしましょう。	12人

講座を終えて

地域で同年齢の子供たちと集団で活動する初めての場として機能している。この年齢の子供たちは、特に親子のふれあいが必要な時期であり、身近なものを使っての様々なプログラムを親子で共に行うこと

の意義は大きい。

今年度は、プログラムの内容について保護者に一緒に考えてもらうなど、講座に積極的に参加してもらえるよう心がけた。

弥富地区の対象者は限られてしまうので、他地区からの参加者を増やすよう努めたい。

家族で遊ぼう

開設趣旨 家族で遊び、協同作業をすることを通して、遊ぶことの楽しさ、重要さを学習する。

対象・人数 市内在住の小学校入学前の幼児とその家族 12人

期間・回数 平成22年11月3日(祝) 1回 午前10時～11時30分

学習目的 家族で同じ時間を共有することの大切さを学ぶ。

指導者 蓮 淳子氏

学習内容 川村記念美術館野外散策

講座を終えて

「親子遊びのつどい」を発展させ、開催日を休日に設定することにより母親だけでなく父親の参加も促し、家族そろって共通の体験を通して絆を深める機会を提供した。

川村記念美術館を親子で散策し、豊かな自然に触れたり、落ち葉を利用して工作をしたりして楽しく遊びました。

家庭教育講座「子供の健康について考えよう」

開設趣旨 子供の健全な発育について保健・食生活の面から学習する。

対象・人数 弥富地区の小・中学生の保護者 8人

期間・回数 平成22年12月10日(金) 1回 午前9時30分～午後1時

指導者 南部保健センター職員

学習内容 講義と調理実習(コーンフレークチキン、じゃこサラダ、白菜としめじの豆乳スープ、
クリーミィヨーグルトパフェ)

講座を終えて

発達期の子供を持つ保護者を対象に講義や調理実習を通して食の大切さや子供の健全育成について学習した。参加者からはヘルシーでありながら子供が喜んで食べそうなメニューでとてもよい、簡単に調理できるメニューで大変参考になったなどの感想が寄せられました。

2. 青少年教育事業

弥富剣道教室

開設趣旨 佐倉市に歴史的な遺産として継承されている「立身流」(千葉県指定無形文化財)の次代への継承を念頭に置き、文化の継承と地域の歴史・風土を身をもって大切にする心を育てながら剣道の修練を行い、青少年の健全育成を図る。

対象・人数 市内在住の小中学生 11人

期間・回数 平成22年5月8日～平成23年3月3日 39回 午前9時30分～11時30分

学習目的

1. 剣道の技術向上と心の修養を図る。
2. 学年間の交流を進め、人を大切にする心を育てる。
3. 郷土意識を醸成し、地域の文化を大切にする意識を高める。

指導者 樫村典久氏、片岡康平氏、田中眞次氏、山本幹夫氏

講座を終えて

千葉県指定無形文化財で佐倉市に伝わる「立身流」の技と精神を指導され、八街市で開催された立身流抜初式にも参加し、子供達も基本の形を修得できました。

通常の稽古でも、週に一度の限られた時間に密度のある稽古を目指し、特に声を出し元気に練習することを第一の目標とし、精神面でも成長がみられました。

星空観察会

開設趣旨 豊かな自然が残り、佐倉市の中でも暗い夜空が望める弥富地区の星空を観察することで、環境への意識を高めると共に自然科学への興味を育む。

対象・人数 弥富小学校の児童とその家族 延べ42人

期間・回数 平成22年8月19日(木)、11月18日(木) 2回 午後7時30分～9時

学習内容 天体望遠鏡を使って、月や惑星・星団などを観察する。

講座を終えて

天体望遠鏡で月や惑星を初めて見て感動する子が多い。また、実際に星空を観察することにより、弥富地区の豊かな自然を感じると共に宇宙への興味や環境に対する意識を高めることができたと思う。

なんでも体験弥富塾（佐倉っ子塾）

開設趣旨 弥富地区の豊かな自然や歴史・風習を地域の方を講師に招き、様々な体験や実習・講義を通して学習する。

対象・人数 弥富小学校の児童 延べ233人

期間・回数 平成22年5月29日～平成23年2月20日 10回 午前9時30分～11時30分

プログラム

回	月日(曜日)	学 習 内 容	指 導 者	参加者数
1	5月29日(土)	身近にある素材を使っておもちゃづくり	大山登美枝氏	24人
2	6月12日(土)	ザリガニ釣り	岩井 明氏	18人
3	8月10日(火)	料理をしよう	食生活改善推進員	21人
4	10月23日(土)	身近にある素材を使っておもちゃづくり	大山登美枝氏	25人
5	11月 1日(月)	バス見学(羽田空港、東芝科学館)		35人
6	11月13日(土)	料理をしよう	食生活改善推進員	21人
7	12月11日(土)	たこを作って飛ばそう	青少年相談員	19人
8	1月 8日(土)	餅をついて成木を作ろう	岩井 明氏	14人
9	2月 5日(土)	身近にある素材を使っておもちゃづくり	大山登美枝氏	12人
10	2月19日(土)	バス見学(はまぎん子ども宇宙科学館)		44人

講座を終えて

弥富小学校児童の半数近くの参加を得ており、異年齢の児童の交流が図られるよい機会となっている。地域の特色を生かしたザリガニ釣りなどを企画し、講師も地元の方をお願いするなど地域の人材活用に努めた。保護者にも積極的に参加していただき公民館、児童、地域、保護者が一体となった講座ができたと思う。

3 . 成人教育事業

ふるさと弥富散策会

開設趣旨 地域の人を案内人に、弥富地区を散策することにより他地区の住民に対し、弥富地区の豊かな自然等について理解を深める。

対象・人数 市内の成人 16人

期間・回数 平成22年4月3日(土) 1回

学習内容 岩富地区の散策

指導者 岩井 明氏

講座を終えて

地域の人材を活かし、自然が豊かな弥富地区をアピールするために実施してきているが、目的は達成されてきていると思う。地域づくり協議会と共催で実施したため、弥富地区の方の参加もあって、地域の良さを再認識する機会となった。

グラウンドゴルフ

開設趣旨 児童から高齢者まで幅広い世代と一緒にプレーできる競技を通して、健康増進と異世代間の交流を図る。

対象・人数 弥富地区の住民 54人

期間・回数 平成22年7月10日(土) 1回 午後1時30分～午後3時30分

学習内容 グラウンドゴルフ

講座を終えて

シニアクラブ・地域づくり協議会と共催で実施し、小学生から高齢者まで多数の参加があった。プレーの組み分けを異世代で構成するなど、参加者の交流がより図られるよう工夫した。

竹炭づくり体験

開設趣旨 弥富地区の自然を活かした竹炭づくりの技法を体験してもらい、その保護・育成について考えるきっかけづくりとする。

期間・回数 平成22年12月5日(日) 1回 午前9時30分～午後3時

対象・人数 市内の成人 16人

学習内容 竹炭づくりの体験

指導者 大野 昇氏、中村恵夫氏

講座を終えて

消臭や水の浄化作用の効果がある竹炭は、環境にやさしく近年再び注目されてきている。竹炭づくり体験は弥富地区ならではの講座であり、他地区の方に弥富の良さを伝える事ができたと思う。

くらしの講座

バス研修

開設趣旨 地区外のさまざまな文化に触れることにより、自分たちの生活を見直し、豊かにするためのきっかけづくりとする。

対象・人数 弥富地区の成人 32人

期間・回数 平成22年6月2日(水) 1回 午前8時30分～午後5時
学習内容 東京都庁・浅草・小石川後樂園見学

カステラづくり講座

開設趣旨 添加物を含まない安心安全なお菓子作りを学び参加者の交流を図る。
対象・人数 弥富地区の成人 12人
期間・回数 平成22年6月23日(水) 1回 午前9時～正午
学習内容 新聞紙の型を使ってのハニーカステラづくり
指導者 山本喜代江氏

そば打ち体験

開設趣旨 手打ちそば作りを体験しながら参加者の交流を図る。
対象・人数 弥富地区の成人 8人
期 間 平成22年12月8日(水) 1回 午前9時30分～午後2時
学習内容 手打ちそば作り方の体験
指導者 山口正智氏

布ぞうりづくり講座

開設趣旨 昔より作り伝えられてきたわらじづくり技法を次代に伝えるとともに、世代間の交流を図る。
対象・人数 弥富地区の成人 12人
期間・回数 平成23年1月28日(金) 1回 午前9時～正午
学習内容 布ぞうりづくり
指導者 三須幸子氏、大西ヤス氏

太巻き祭り寿司講座

開設趣旨 弥富地区の伝統料理である太巻き寿司の技法を学び、地域で指導できる人材を育成するとともに参加者同士のコミュニケーションを深める。
対象・人数 弥富地区の成人 延べ22人
期間・回数 平成23年1月26日(水)、2月10日(木) 2回 午前9時～午後2時
学習内容 太巻き祭り寿司の技法や指導方法の習得
指導者 伊藤芙美子氏、三須幸子氏

講座を終えて

バス研修は、恒例となっており地区住民の交流を深めるよい機会となっている。

また、カステラづくり・そば打ち・太巻き祭り寿司の技法の習得と新設された調理室の利用促進がなされるようになった。布ぞうりづくりは若い世代にも講評であり、わらじづくりの技法が引き継がれるよう次年度も実施していきたい。

南部地区の旧街道を歩く(佐倉・城下町400年記念事業)

開設趣旨 南部地区の旧街道にある史跡を散策しながら、地域に関する理解と愛着を高める。

期間・回数 平成22年11月27日(土) 1回

午前9時30分～正午

対象・人数 市内の成人 17人

学習内容 神門神社・玉藏院・旧旭橋・千蔵寺・八坂神社・百観音・念仏塚等の史跡見学
講座を終えて

今年度から始まった佐倉・城下町400年記念事業の一つとして実施した。江戸時代の年貢道の一部であった神門から坂戸までを辿り、街道沿いの史跡を訪れ往時を偲びました。

史跡散策(佐倉学入門講座)

開設趣旨 弥富地区の史跡を散策することで郷土への関心を高めるとともに、弥富地区を他地区の住民に紹介する。

期間・回数 平成22年12月3日(金) 1回 午前9時30分～午後3時30分

対象・人数 市内の成人 11人

学習内容 馬頭観音・根古谷城址・法宣寺・妙見神社等の史跡見学
講座を終えて

弥富地区とその周辺には多くの史跡があり、次年度以降も佐倉学入門講座として継続していきたい。

4. 団体育成事業

弥富民俗資料展示室

展示室の見学に対し、文化課と連携をとって説明・案内の実施に協力している。

弥富地区青少年育成住民会議

地区グラウンドゴルフ大会などの事業実施に協力している。

5. 広報・展示事業

公民館だより

ねらい 公民館事業・グループ活動・地域の問題などを紹介し、公民館活動への理解を深め、積極的な参加を図るとともに、地域の情報源となるような情報誌を目指す。

発行回数 年3回(5・9・1月号)

発行部数 600部/回

配布方法 弥富地区の各区長を通じて全戸配布